

**問** 県道「加美六粟線」改良整備について

**答** 整備プログラムへの計上に努力を重ねる



六粟政友会代表  
田 淵 基 次

**問**

加美六粟線 染河内地区、上野田、能倉、東河内バイパス構想について市長はどのような位置付けをもっておられますか。

私は旧町時代から30年近い間、同線全線の改良整備に陳情を重ね強く要望してきた1人です。平成17年にも同主旨の質問をいたしました。その時点においては現在よりも明るい見通しに期待していたものです。過日西播磨県民局長が六粟市である会合の席上今後の西播磨の種々事業についてのお話の中に同線の整備、バイパスの事業についての位置づけがなかったことです。失礼ながらその席において同線のバイパス事業につきご説明申し上げた次第です。当然市長も合併時点の引継ぎ重要事業とし

てご理解ご認識されていることと思います。地域住民と共に納得のいく市長のご回答をお聞かせ下さい。

**市長**

地域住民の方の生活と神河町、さらには但馬方面へと連携し地域間交流や非常時の緊急輸送道ともなることから、重要路線と位置づける中で機会あることに要望しています。しかし県の厳しい財政状況の中、同線の改良時期については見通しが立っていない状況です。8月頃県の社会基盤整備プログラムの見直しが行われます。既に詳細設計と地形測量の一部も完了しており地元の協力体制も整っていることから、まずプログラムに計上していただける様努力を重ねていきます。

**問**

市内小中学校の耐震化の早期促進について。

中国四川大地震犠牲者の方に謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

この四川大地震を受け、政府・自民党も補強改築事業への国庫補助率の引き上げを進めています。法整備もなされることと思いますが、たとえ整わなくても事業促進される意図がありますか。市長にお伺いします。

**市長**

地震発生時児童生徒の生命身体の安全を守る

こととあわせて地域の避難場所となることから耐震性を確保することは大変重要であります。昨年度に耐震化推進計画を策定し、施設の改修等の優先順位を定める中で順次進めています。本年は千種東小改築、波賀中学校屋内運動場大規模改造工事、一宮北中学校舎改築事業設計監理業務の発注を行います。



県道加美六粟線